

やまぐちっ子の学力向上に向けて

平成30年1月
やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会

平成29年度全国学力・学習状況調査における本県の平均正答率は、小学校では、区分によって差はあるものの、概ね全国平均と同程度、中学校では、全ての区分で全国平均を上回るという結果でした。同調査では、平成25年度以降、連続して平均正答率が全国平均を上回る、または同程度という結果が出ており、これまでの学力向上の取組の一定の成果が現れていると考えられます。一方で、特定の内容に関する知識や技能の定着、身に付いた知識・技能を活用する力、学習習慣や生活習慣の確立、家庭学習の充実などの課題は、依然として改善されない状況にあります。

こうした中、急速に変化するこれからの時代に求められる資質・能力を子どもたちに確実に育んでいくためには、県内全ての小・中学校がコミュニティ・スクールの取組をこれまで以上に充実させ、学校・家庭・地域が一体となって、新学習指導要領で求められている「社会に開かれた教育課程」を実現することが重要となります。

そこで、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」では、学校における取組や教育委員会の施策、これまでの全国学力・学習状況調査や山口県学力定着状況確認問題の結果等を踏まえ、今後の取組の一層の充実に向け、次の提言をまとめました。

— 提 言 —

1 学校の「組織力」の一層の充実

- 山口県学力定着状況確認問題と全国学力・学習状況調査とを合わせた年間2回の検証改善サイクルによる全校体制での取組を引き続き徹底すること
- 学力分析支援ツール等の活用により、学校の課題を焦点化し、課題に応じた取組を徹底させること
- 板書型指導案の活用や授業評価の計画的な実施、小学校の教科担任制などの体制づくり、授業改善資料等を活用した校内研修の活性化等による組織的な授業改善の取組を促進すること
- 少人数指導や補充学習の計画的な実施、個に応じたきめ細かな学習支援を徹底する体制づくりを推進すること
- 学校運営協議会等で、各学校の学力課題を共有し、課題解決に向けた熟議等の実施を促進すること

2 教員の「授業力」のさらなる向上

- 研修会等の充実により、キャリアステージに応じた個々の教員の指導力向上を図ること
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、研究校の指定ややまぐち総合教育支援センターとの連携等により、指導方法の研究を推進するとともに、成果の普及に努めること
- 学力向上推進リーダー・推進教員等を活用し、学校ごとの子どもたちの実態や教科等の本質的な学びに応じた指導方法を工夫するなど、具体的な授業改善の取組の活性化を促進すること
- 見通しや振り返り、協働的な学習活動の実施など「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した学習過程、読み取る力や表現力を養う指導方法等の工夫改善を促進すること
- ユニット型研修などを積極的に行い、保護者・地域の方の意見を踏まえながらの授業改善を促進すること

3 家庭・地域・関係機関等との「連携力」の強化

- PTA組織や家庭との情報共有により学習習慣の確立を図る取組を促進すること
- 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みを生かしながら、学校の教育内容や子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を共有するとともに、地域の教育資源の積極的な活用を推進すること
- 合同研修会や乗り入れ指導、研修会への相互参加により、幼保小連携・小中連携・中高連携の一層の充実を促進すること
- 積極的な情報発信により、教育施策や学校の効果的な取組の周知・普及に努めること

本提言をもとに、各市町教育委員会との連携強化を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組が一層推進されることを期待します。